

小野田俊蔵先生・門田誠一先生・宮澤知之先生・渡邊秀一先生 退職記念号発刊にあたって

小野田俊蔵先生と門田誠一先生が二〇二二（令和四）年三月末をもって、宮澤知之先生が、二〇二三（令和五）年三月末をもって退職されました。渡邊秀一先生が二〇二四（令和六）年三月末をもって退職されます。

『佛敎大学 歴史学部論集』第一四号を四人の先生方の御退職の記念号として発刊いたします。

四人の先生の佛敎大学歴史学部への長年の貢献に感謝する次第です。先生方の学問上の業績につきましては本号に収録されております著作目録に示されております。

小野田俊蔵先生は、佛敎大学文学部ならびに文学研究科を修了されたのち、佛敎大学文学部仏敎学科の助手として奉職され、その後、歴史学部の設立にあたり本学部に移られ長年にわたって研究と教育に尽力されました。

小野田先生は、仏敎学のなかでもチベット仏敎を専門とされ、この分野の研究を長年にわたって牽引されました。とりわけ、「絵画史」・「芸能史」などチベット仏敎を多面的にそして重層的に解析する手法

は他の追隨を許さない画期的なものでした。

このような分析によって得られた最新の学問的知見は、佛敎大学の講義・演習によって学生に教授されるだけでなく、佛敎大学宗教ミュージアムの展示などによって多くの方々に示されました。このような佛敎大学の社会的貢献の一翼を担っていただいたことに感謝いたします。

門田誠一先生は、東アジアの考古学者として常に最先端の研究をされ、学会にあっても大きな位置を占めておられました。門田先生の御研究はマルチアークイブな手法により、日本・中国・韓国の考古学を横断的に捉える、という斬新なものでした。現在では多くの考古学研究者が門田先生のマルチアークイブな手法を学び新しい研究成果を示しているところですが、その手法の嚆矢として先生が示された多くの知見は、いまなお当該分野の多くの研究者が最初に参照すべき論考になっています。

マルチアークイブな手法と考古学の遺跡調査の統合という研究手法で学会をリードされ、その多くの知見を歴史学部の学生・院生に示し

ていただいたことに感謝いたします。

宮澤知之先生は、中国財政史・貨幣史の分野において多くの貴重な業績を上梓されました。宮澤先生の御研究は日本のみならず中国においても参照すべき研究になっている、と仄聞しております。

宮澤先生は、徹底的な史料の収集と丁寧な分析により多くの新しい知見を学会に示されました。その研究の徹底ぶりは、史料に出てくる用語をカード化して用語集を作成されていたことから窺うことができます。

このような確固たる研究に裏打ちされた成果をもって、中国社会をどのように捉えるか、などの論争でも相手を圧倒されました。財政史・貨幣史の視点から中国社会をどのように捉えるのか、という問題を常に意識されておられた先生の面目躍如たるお姿でした。

渡邊秀一先生は、歴史地理学・人文地理学を専門とされ日本近世の都市形成や空間構造を研究対象とされてきました。「絵図」と文献史料を連関させて都市や地域を立体的に解析されました。渡邊先生はこのような手法を近代の京都などの分析にも応用され地域を理解するうえで最も重視しなければならない要因を具体的に示されました。

都市の変容の考察において、通説的な理解を排し、インフラ整備との関係だけでは解明できない都市の変容の重要な要因を示唆されるなど、多くの研究者が自明とする学問的通念に大胆に切り込んでいく研究を展開されました。

また、渡邊先生におかれましては、歴史学部長を二期にわたりお勤めいただきました。お礼申し上げます。

先生方の実証的で斬新な多くの研究業績に接し畏敬の念を禁じ得ません。ささやかではありますが、本号を四人の先生方への感謝の証にさせていただきますと存じます。先生方の御研究がこれからも発展されますことを祈念いたします。

今後も歴史学部への御指導と御助言を賜りますようお願い申し上げます。

歴史学部長 麓 慎一